

## 会長便り

### 北光会、100周年 最近の動向

菊地 芳朗 (GS34)



今回は、最初に悲しいことを申さなければなりません。

本会の名誉会員で秋田大学名誉教授、元学長、創立100周年記念会会長徳田弘先生が去る3月8日ご逝去されました。謹んで哀悼の意を表するとともに、心からご冥福を

お祈りいたします。

一昨年のリーマンショックで100年に一度と云う経済状況から、昨今は若干の回復の兆しがあると報じられておりますが、実生活では殆ど感じられません。このような状況のなかで今年も3月22日卒業式があり新正会員を迎えることが出来ました。歓迎会の挨拶で「世のなか不況と云われているが、不況の時こそ温室効果ガスの削減や少子化問題など、不況克服のために若い皆様に期待することが沢山ある」と申したところ

です。創立100周年募金は3月31日現在、3,591件1億4,738万円のご芳志を頂き感謝申し上げます。その内、北光会は3,028名7,446万円であり、企業は151社4,508万円となっております。

卒業式前日の3月21日に鉱業博物館後援理事会・評議員会、北光会理事会、創立100周年記念募金委員会と役員会がありました。今回はこれらの会議について触れてみることにいたします。

鉱業博物館後援会は本年7月を以て解散することになりました。この後援会は昭和41年に設立されました。学部創立50周年記念事業として博物館が建設されましたが、寄付金募集が滞り、工事代金を全額支払うことが出来ませんでした。ところが秋田県出身の普礼之助氏の格別なご配慮で日本金銀協から4,000万円の寄付を頂き工事代金を支払い、余剰金1,500万円を基本財産として後援会(財団)を設立し、博物館の発展に寄与することにしました。しかし、法律の改正などで財団の運営が困難となり、この度解散することになりました。代わって「秋田大

学工学資源学部附属鉱業博物館の活動を支援する会」(仮称・財団解散後は後援会とする)を設置することにしました。

一方、募金委員会ですが、先に申し述べたように企業募金が遅れております。企業募金の目標額は1億5,000万円ですが、まだ1/3にも達していません。現在の経済状況を考えると困難な状況と見られますが、内情を見ると企業訪問が進んでいないことに原因があると見られます。

今回の募金を始めるにあたり、募金をお願いする企業として同窓生が3名以上勤めている企業のリストを作成しました。1,500社を数えました。内、既に訪問等でご挨拶されたのは約500社であります。残る1,000社は何らのアプローチもされていません。これを支部別に見ますと秋田支部と東京支部が最も多く各々約400社となっております。今日の経済状況を見ると、企業募金は勤めている同窓生を通してお願いした方がよいのでは、と考えております。

企業数の多い両支部の支部長には企業募金に対処するため募金委員会副委員長に就任するよう募金委員会の了承を頂きました。北光会としても更なる応援態勢を強化するため、両支部長を北光会副会長にお願いする旨、理事会の承認を得たところです。

その他の各支部にも企業募金についてご協力をお願いいたします。

募金期間は残すところ1年6ヶ月となっております。ご協力の程宜しくお願いいたします。

創立100周年記念役員会では、新たな会長を吉村昇学長にお願いしたところ快諾して頂きました。また、創立100周年記念式典の日時と会場が決まりました。平成23年10月1日(土)、秋田アトリオンです。詳細はこれから検討されます。

最後に新会員歓迎会の席上、新会員から北光会費を忘れずに支払っていく、旨の力強い挨拶を頂きました。頼もしい限りと期待しているところです。

北光会は皆様の会費で維持されております。会費納入率の向上にご協力下さい。